

環境を守る

暮らしの手帳

2017-2021



後期アクションプラン

第二次町田市環境マスタープラン推進計画

概要版

たとえば、地球温暖化。
世界各国で取り組みが進む、地球規模の大きな環境問題です。
でも、あなたの身近でも環境に関する問題は発生しています。ごみやタバコの吸い殻のポイ捨てに困ったことはありませんか。またはそれらの清掃活動に参加された方もいるかもしれません。

この冊子では、地球温暖化のような大きな問題やごみのポイ捨てのような身近な問題について、市民や事業者のみなさんが環境を守る方法を紹介しています。

もっと知りたい、町田の環境
環境学習・活動について

▶▶▶ P.22

暮らしやすい街にするには？

生活環境について

▶▶▶ P.18



どうやってごみを減らす？

ごみの減量について

▶▶▶ P.14

地球はこの先どうなる？

地球温暖化について

▶▶▶ P.6



町田の自然をどう守る？

自然環境について

▶▶▶ P.10

町田市の環境に関する計画

第二次町田市 環境マスタープラン

「第二次町田市環境マスタープラン」は、町田市の環境に関する施策を推進するための、環境基本計画です。計画の期間は、2012年度から2021年度までの10年間です。計画では、市民・事業者・行政が協力して町田市の良好な環境の保全、回復及び創造を推進するため、「望ましい環境像」を掲げています。

望ましい環境像

水とみどりとにぎわいの 調和した環境都市 まちだ

この「望ましい環境像」を実現するため、5つの基本目標を設定しています。

基本目標 1

地域で
取り組む地球
温暖化の防止

基本目標 5

環境に配慮した
生活スタイル
の定着

基本目標 2

自然環境と
歴史的文化的
環境の保全

基本目標 4

良好な
生活環境の
創造

基本目標 3

持続可能な
循環型社会
の構築

後期アクションプラン

「第二次町田市環境マスタープラン」を進めるための市の取り組みとともに、市民・事業者の取り組みを示したものがアクションプランです。

アクションプランは、前期5年間(2012年度～)と後期5年間(2017年度～)に分けて作成しています。

後期アクションプランは、前期期間の取り組み成果を発展させたものです。市と市民・事業者がそれぞれの立場で、あるいは協働で取り組みを行いながら、「町田市が将来に引き継ぐよりよい環境づくり」を目指すものとしています。

後期アクションプランでは、市が重点的に取り組む以下の31の事業を重点事業としています。

基本目標

1

重点事業

- 1 「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援
- 2 みどりのカーテン等の積極的な導入
- 3 歩道の透水性舗装の整備
- 4 路線バス利用環境整備
- 5 水素ステーションの誘致
- 6 エコドライブの周知、普及・啓発の実施
- 7 特別緑地保全地区等の指定拡大

基本目標

2

重点事業

- 8 都市計画公園の用地取得・整備
- 9 水辺の魅力の発信
- 10 生物多様性情報拠点機能の構築・充実
- 11 北部丘陵の整備
- 12 遊休農地のあっせん
- 13 観光交流拠点を活用したイベントの実施



基本目標 3

重点事業

- 14 情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用
- 15 ごみ減量に関する出前講座の充実
- 16 食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施
- 17 事業所向け情報提供の実施
- 18 生ごみ処理機の導入促進
- 19 ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討
- 20 熱回収施設等の整備
- 21 資源ごみ処理施設の整備

基本目標 4

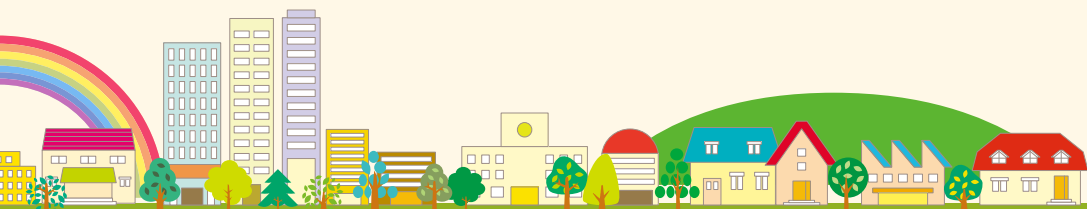
重点事業

- 22 自転車利用環境の整備
- 23 下水道未整備箇所の污水管整備の推進
- 24 下水処理水の水質向上
- 25 有害化学物質の適正管理・処理の指導
- 26 生活風景宣言等による良好な景観づくり

基本目標 5

重点事業

- 27 環境副読本を活用した環境学習の実施
- 28 子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施
- 29 まちだエコ宣言制度の推進
- 30 ホームページの充実による情報集約・発信
- 31 ごみ減量サポーターの地域活動支援



次のページからは、環境を守るため、市民や事業者のみなさんに取り組んでいただきたいことを、基本目標の5つの分野ごとに紹介します。

市民の
みなさんへ

市民のみなさんの取り組みの例を紹介します。

事業者の
みなさんへ

事業者のみなさんの取り組みの例を紹介します。



やってみるのん♪

ページの下欄のクイズにも挑戦してみよう。
答えはクイズの次のページにあります。



基本目標

1

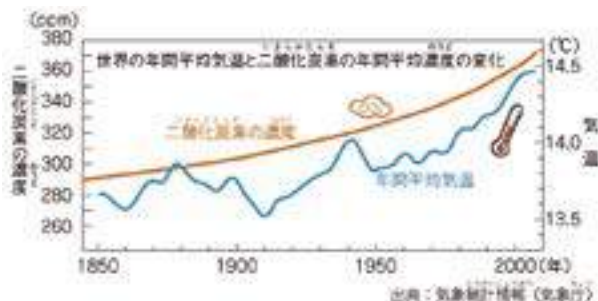
地域で取り組む 地球温暖化の防止

地球温暖化の今

1900年から2000年にかけて、世界の平均気温は約1℃上昇しました。その主な原因となる二酸化炭素の濃度は、約300ppm(1900年)から約400ppm(2014年)へと約30%上昇しています。

2015年にパリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)では、産業革命前からの平均気温の上昇を2℃未満に保ち、1.5℃以内に抑える努力をするという世界共通の目標が決められました。世界各国でこの目標をもとに、取り組みが進められています。

町田市においても、二酸化炭素の排出量を減らしていく取り組みを進めています。



「わたしのエコ宣言」に参加しよう

「わたしのエコ宣言」は、毎日の生活の中で地球温暖化対策に取り組んでいただく活動です。

家庭ですぐにできる地球温暖化対策(10項目)の中から、実施する取り組みを選び、宣言しましょう。



わたしのエコ宣言
オリジナルステッカー

たとえば・・・

- テレビを見ないときは消す
- お風呂のふたをしめる
- 近くへの外出は徒歩や自転車で行く



この3つの取り組みを行うと、
二酸化炭素削減量の合計は
95.8kg に !!

生活の中のちょっとした配慮で二酸化炭素は減らしていくことができます。

市のホームページでは、市民の皆さんの参加状況や二酸化炭素削減量を公表しています。町別の状況も分かりますので、ご近所や地域で声を掛け合って参加するのもおすすめです。

お問い合わせ 環境資源部 環境・自然共生課
Tel. 042-724-4391



こんなこともやってみよう

毎日の電力消費量や二酸化炭素排出量を知りたいときは

- 町田市が貸し出しを行っている省エネナビやエコワット等を利用して、消費電力量を測ってみましょう。 **問** 環境・自然共生課
- クール・ネット東京がホームページで公表している環境家計簿を利用して、二酸化炭素排出量を計算してみましょう。



クール・ネット東京ホームページ>トップページ>活動トピックス>環境家計簿

化対策に取り組もう!

みどりのカーテンを作ろう

夏の日差しや暑さを和らげるために、みどりのカーテンを作って、自然の力で涼しく過ごしましょう。遮熱フィルム、すだれやよしずも有効です。



金森 Kさん宅



中町 Iさん宅

みどりのカーテンは、ゴーヤやアサガオなどのつる性の植物をネット等で窓の外にはわせて作ります。町田市では、市民団体「緑のカーテンプロジェクト」等と協働で、毎年5月にゴーヤやアサガオの苗を配布しています。

お問い合わせ 環境資源部 環境・自然共生課 Tel. 042-724-4391

こんなこともやってみよう

出かけるときや通勤時は

- 自動車の利用を控え、できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用しましょう。

自動車を購入・利用するときは

- 自動車の買い替え時には、ハイブリッド車、電気自動車等の低公害車を積極的に選択しましょう。
- 自動車を利用するときは、 unnecessary アイドリングをやめるなど、エコドライブを行いましょう。

エアコン・冷蔵庫を使用している場合は

- 冷媒に使用される「代替フロン」は、高い温室効果があります。フロン排出抑制法で管理者に義務付けられている点検を適切に実施しましょう。

施設や設備を新築・改築・更新する場合は

- LED照明等の省エネ機器の設置、ビルや工場でのエネルギー管理システムの導入等の省エネ対策を行きましょう。
- 太陽光発電システムや太陽熱利用システム等の再生可能エネルギーを導入しましょう。

お役立ち 情報

◎町田市中小企業融資制度

町田市の中小企業融資制度の「環境改善整備資金」は、太陽光発電システムや太陽熱高度利用システムなどの設置のための融資の利息の全額補助を行っています。

お問い合わせ 経済観光部 産業観光課 Tel. 042-724-2129

◎省エネ診断

東京都地球温暖化防止活動推進センターでは、事業者を対象に、無料の省エネルギー診断を行っています。



クール・ネット東京ホームページ>トップページ>省エネ診断>事業所の省エネ診断

市の取り組み紹介

2020年の水素エネルギー

水素エネルギーは、使用するときには二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーです。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会では選手村に水素ステーションを設置し、燃料電池自動車等への供給が予定されています。

町田市では、燃料電池自動車普及のため、水素ステーションの市内誘致に向けた取り組みを進めます。



燃料電池自動車

お問い合わせ 環境資源部 環境・自然共生課 Tel. 042-724-4391

基本目標

2

自然環境と 歴史的文化的環境の保全

町田市の自然環境

私たちが普段目にしている町田市内の豊かな緑は、多くの人々の取り組み、努力によって維持管理されています。しかし、長年に渡り維持されてきた自然環境や生きものの生態系は、人々の生活スタイルの変化や、温暖化などの自然環境変化によって失われつつあることも事実です。

市内にある河川の源流風景やそこに生息する生きものたち、また周囲に広がる丘陵部の谷戸なども、今後の保全活動が大きな課題となっています。

公園や街路樹などの緑地整備を進めながら、町田の緑が持つ魅力を皆さんに広く伝えるイベントや情報提供を、引き続き行っていきます。



せせらぎ公園



奈良ばい谷戸



生きもの調査に 参加してみよう！



町田市では、市民の方々に生きものへの興味関心を高めていただき、地域における生物多様性保全活動を担う人材の発掘・育成に繋げるため、また、町田市の生物データを収集し、経年変化を観察することを目的に、様々な調査を行っています。

2014年から続いているセミの鳴き声調査や、抜け殻の調査では、参加した方々から「家族の会話になって楽しかった」、などの声が寄せられ、生きものに親しみを感じるきっかけとなっています。2015年度に行った親子向けのイベント『早春の生きものさがし』では、小山地区の公園と里山で調査を行いました。



お問い合わせ

環境資源部 環境・自然共生課
Tel. 042-724-4391



里山保全活動に参加して、地域交流しよう！

奈良ばい谷戸の環境保全と次世代への継承のため、地域のNPO法人指導の下、地域との交流を通して、水田や畑地、樹林地の再生と保全に取り組むイベントを多数開催しています。伝統農法を用いた耕作や、収穫した農作物を学校へ寄贈するなど、多岐にわたる活動で自然と触れ合うことができます。写真は地域交流会での竹の子堀りと、農業体験活動での田植えの様子。



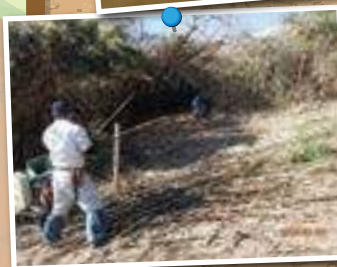
体験型のイベントに参加しよう！



鶴見川源流・保水の森や谷戸の景観を、人為的な関わりを通して守っていくための市民協働の取り組みです。

お問い合わせ

経済観光部 北部丘陵整備課
Tel. 042-724-2164



事業を計画するときは

- 生き物の生育・生息環境に配慮しましょう。
- 敷地内に植物を植えるときは、外来種を避け、地域に自生している在来種を導入しましょう。
- 地域の自然環境と共に維持・保全されるべき史跡や古道などの文化遺産や原風景に配慮しましょう。

お役立ち
情報

◎町田産農産物を買うには

町田産農産物は、ＪＡ町田市アグリハウスや市内農家による農産物直売所で購入できます。また、日曜朝市やまち☆ベジ市でも購入できます。市内農家による農産物直売所、町田市内の農業に関する施設やイベントが掲載された「まち☆ベジマップ」は無料で配布しています。また、ホームページでも見ることができます。

日曜朝市は、毎月第一日曜日午前７時から８時に、町田市教育センター校庭（町田市木曽東３-１-３）で行っています。

町田市農産物直売所
マップ

お問い合わせ 経済観光部 農業振興課 Tel. 042-724-2166

市の取り組み紹介

遺跡を見に行ってみよう

町田市は、全国でも有数の遺跡の宝庫であり、その大部分は、かつての人間たちが豊かな森林資源に恵まれた環境の中で、狩猟採集中心の生活を送っていた縄文時代の遺跡です。市内には1,012ヶ所もの遺跡がありますが、そのなかでも貴重な遺跡については史跡として市が保存・管理しています。都内で唯一の縄文時代のストーンサークルが残る田端環状積石遺構（町田市小山町：写真上）や、縄文と弥生時代の竪穴住居が復元された本町田遺跡（町田市本町田：写真下）などは一見の価値があります。ぜひ足を運んでみましょう。



お問い合わせ 生涯学習部 生涯学習総務課 Tel. 042-724-2554

基本目標

3

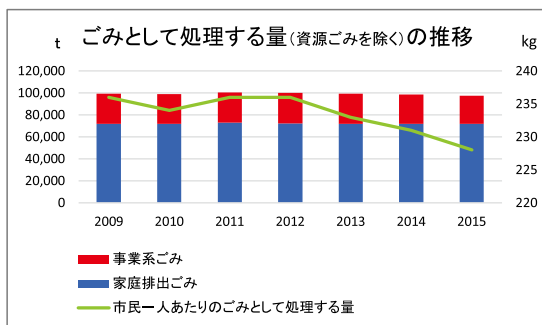
持続可能な 循環型社会の構築

町田市の廃棄物

町田市のごみの排出量は、2009年度から2015年度まで、約1,600 t 減少しています。この期間、市の人口は約4,900人増加していますが、市民・事業者のみなさんのご協力により、ごみの減量が進んでいます。

更なるごみの減量・資源化のため、市では熱回収施設等や資源ごみ処理施設などの整備に向けた取り組みを進めています。

また、2016年4月からは、容器包装プラスチックの分別収集が一部の地域で始まり、資源化が進んでいます。



おいしく残さず食べきろう！

本来食べられるのに廃棄されている食品ロスは、日本の食品廃棄物発生量約2,800万t/年のうち約632万tと言われています。

この食品ロス削減のため、国民活動（NO-FOODLOSS PROJECT）が展開されています。



NO-FOODLOSS PROJECT
ロゴマーク

ご家庭でできる、食品ロス削減に取り組んでみましょう。

食品ロスが発生する原因

- 食べ残し
- 賞味期限・消費期限切れ
- 過剰除去
皮を厚くむき過ぎたり、取り除き過ぎること

食品ロスを減らす工夫

- 無駄な食材は買わない！
- 保管方法や賞味期限・消費期限を正しく知る！
- 食べる切れる量を料理する！
- 食べ切れなかったら、他の献立に作りかえる！

お問い合わせ 環境資源部 3R推進課
Tel. 042-797-0530

こんなこともやってみよう

商品を購入するときは

- 環境配慮型の商品、リサイクル品やリユース品（中古品）の購入を検討しましょう。
- 使い捨て商品は、できるだけ購入しないようにしましょう。
- 不要な包装は断りましょう。

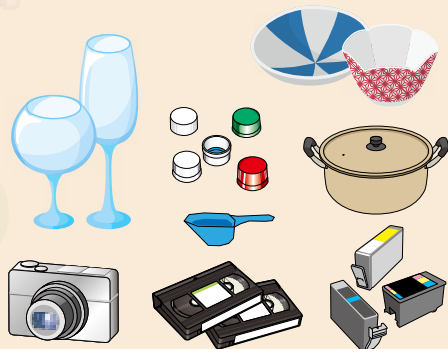
外出のときは

- マイボトル、マイバッグなどの利用を心がけましょう。
- 街頭での無料配布物は、必要がなければ断りましょう。

使おう！

リサイクル広場を利用しよう

リサイクル広場は、ごみとして出しているものの中から、リサイクルすることができるものを対面式で無料回収している資源の回収拠点です。



- 陶磁器
- ガラス食器
- 廃食用油
- 紙容器
- 洗剤の軽量スプーン
- ペットボトルのふた
- パン袋の留め具
- 家庭金物
- ビデオテープ
- インクカートリッジ
- 小型家電

対象
品目

リサイクル広場は、市が開催する広場の他に、町内会・自治会等で運営する地域リサイクル広場が12ヶ所あります。お近くのリサイクル広場を利用して、これまでごみで出していたものも資源化しましょう。

お問い合わせ 環境資源部 3R推進課 Tel. 042-797-0530



こんなこともやってみよう

地域のごみ減量の取り組みに参加しようと思ったときは

- 町内会、自治会のごみ減量サポーターと一緒に活動してみましょう。
- ごみ減量の取り組みに関する出前講座を利用しましょう。 問 3R推進課

製品を使用・処分するときは

- 家具や電化製品等は、修理しながら長く利用しましょう。
- 不要になった衣類や書籍、雑貨等は、フリーマーケットに出品したり、リサイクルショップに売るなど、再使用を考えてみましょう。

商品開発を行うときは

- 環境に配慮した商品や廃棄時のことを考えた商品の開発を心がけましょう。

商品を販売するときは

- 不要な包装はやめましょう。
- 消費者にマイボトル、マイバッグの持参を広めるための取り組みを行いましょう。
- 飲食店では、食品ロスが発生しないよう、商品提供量の設定に配慮しましょう。
- 食料品店では、食料品廃棄物を少なくする工夫をしましょう。



ごみを排出するときは

- 事業活動で出るごみは、事業者の責任で処理することが必要です。ごみを分別し、資源化できるものは資源化し、資源化できないものは事業系一般廃棄物、産業廃棄物の種類に応じて適正に処理しましょう。

お役立ち 情報

市ではごみ排出事業所向けの説明会を開催しています。また、廃棄物の基本情報から事業コスト軽減に役立つ情報等を併せた、適正処理ルールブックを作成しています。

お問い合わせ 環境資源部 3R推進課 Tel. 042-797-7111

市の取り組み紹介

ごみの資源化施設の整備

町田市では、老朽化したごみ処理施設に代わり、町田リサイクル文化センター敷地内に新たな熱回収施設等（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設等）の整備を進めています。

安心かつ安全な施設を整備するため、町田リサイクル文化センターの周辺にお住まいの方で構成された地区連絡会で、施設の整備や運営管理等について、協議いただいています。

今後も、広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」等で施設整備の最新情報をお届けします。



お問い合わせ 環境資源部 循環型施設整備課 Tel. 042-724-4384

基本目標

4

良好な 生活環境の創造

町田市の暮らしの安全と快適性

みどりや美しい景観の多い町田市では、住民のみなさんが自然と触れ合いながら、四季折々の豊かな景観の中で安心して暮らすことのできる生活環境が整備されています。公共下水道の普及率は98.5%（2015年度）となり、河川の水質は測定項目の多くで環境基準を達成しています。また、大気質も一部の項目を除き、良好な状況にあります。

生活に根差した魅力ある暮らしを守るために引き続き、大気や水の環境、騒音・振動の問題など、現在の状況を維持または改善していくことが必要です。

P19～21では、取り組みの対象を下の記号で表します。



大気環境



水環境



住環境





川の水をきれいに保とう



恩田川都橋付近

町田市内の道路側溝は河川につながっています。汚れた水を道路側溝に流すと、河川が汚れてしまいます。

河川水質を守るため、次のことに気を付けましょう。

- カーシャンプーを使用する洗車は洗車場で行ってください
- 灯油やエンジンオイルは販売店に相談の上、適正に処分してください
- 家庭で使用した塗料の余りは布や紙にしみこませて燃やせるごみに捨ててください



その他にも、道路側溝に汚れた水を流さないようにしましょう。

お問い合わせ 環境資源部 環境保全課 Tel. 042-724-2711

こんなこともやってみよう

外出するときは

- 外出時や通勤時は、できる限り、徒歩、自転車、公共交通機関を利用しましょう。

移動に自動車を使うときは

- unnecessary アイドリングをやめるなど、エコドライブを行いましょう。
- ハイブリッド車や電気自動車等の低公害車を積極的に選択しましょう。
- 自動車の点検整備を定期的に行い、低燃費で走行しましょう。

組みをしよう!



景観について考えてみよう

みなさんが住んでいる町田市には、緑豊かな自然や住宅地の街並みなど魅力的な景観がたくさんあります。

魅力的な景観づくりのためには、守り、育てていく人々の活動が欠かせません。



成瀬尾根からの眺望



三輪緑山住宅地

みなさんも魅力的な景観づくりのために何ができるかを考え、関連する活動に積極的に参加してみましょう。

お問い合わせ 都市づくり部 地区街づくり課
Tel. 042-724-4267

こんなこともやってみよう



きれいなまち並みの形成のために

- 自宅周辺の道路などの清掃、除草を定期的に行いましょう。
- 道路に面した所や道路から見える場所に草花を植えましょう。
- 生垣や塀等は定期的に入れ替えてみましょう。
- 隣近所や自治会等で、きれいなまち並みを目指して[生活風景宣言]を行いましょう。 問 地区街づくり課

道路や公園等をきれいに保つために

- 路上喫煙、空き缶やたばこ等のポイ捨てはやめましょう。
- ごみを拾うことや地域での清掃などの美化活動に参加することにより、道路をきれいにしていきましょう。
- 道路や公園等の一部を市民が手入れし、管理するアダプト事業に参加しましょう。 問 道路管理課、公園緑地課



移動に自動車を使うときは

- 不必要なアイドリングをやめるなど、エコドライブを行いましょう。
- ハイブリッド車や電気自動車等の低公害車を積極的に購入しましょう。
- 自動車の点検整備を定期的に行い、低燃費で走行しましょう。

機器・資材を購入するときは

- 揮発性有機化合物（VOC）の少ない塗料など、低VOC製品を選択しましょう。
- 事業所などで小さなボイラーを導入する際は、低NOx型小規模燃焼機器を選択しましょう。



お役立ち 情報

◎VOC対策アドバイザー派遣制度

東京都では、中小企業のVOC排出削減に向けた自主的な取り組みを支援する、「VOC対策アドバイザー」を無料で派遣しています。



東京都環境局トップページ>大気・騒音・振動・悪臭対策>大気汚染対策>揮発性有機化合物（VOC）対策>VOC対策アドバイザー派遣制度

市の取り組み紹介



ごみゼロデー

5月30日は、「ごみゼロデー（関東地方環境美化の日）」です。

町田市では毎年、散乱ごみの一斉清掃を実施しています。この活動は、町内会や自治会等の団体と協力して行っています。

他にも、まちの美化に関する活動を年間をとおして行っています。



美化活動のようす

お問い合わせ 環境資源部 環境保全課 Tel. 042-724-2711

基本目標

5

環境に配慮した 生活スタイルの定着

町田市の環境学習

町田市の小中学校では、全校で環境教育の実施に取り組んでいます。

その内容は、農業体験や地域の特性を生かした自然学習、校内外の清掃活動、緑のカーテンの設置やビオトープ※の作庭など様々です。

学校以外でも、まちだ市民大学 HATSの環境講座、環境月間イベント等の環境イベントの開催など、市民・事業者の環境学習・保全活動を推進する取り組みを行っています。



クヌギの苗木の植樹

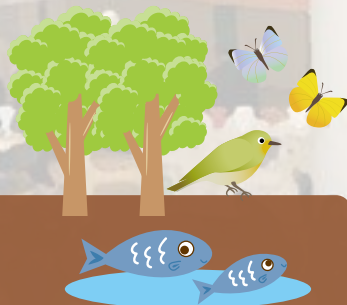
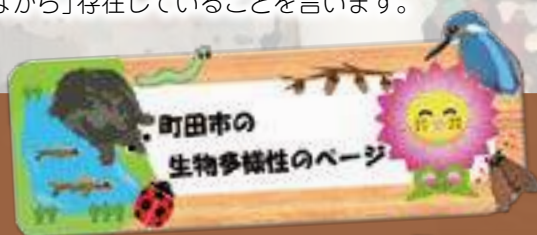
※ビオトープ：本来その地域に住むさまざまな野生の生きものが生育・生息することができる空間



生物多様性にかかわるイベントに参加しよう

生物多様性とは？

多くの生きものが、様々な環境の中で「つながりあひながら」存在していることを言います。



町田市の様々な生きものたちが暮らす場所と、その環境を守っている人々、生きものと触れ合えるイベントに参加しましょう。

町田市の生物多様性のページでは、市・市民・団体の取り組みやイベントを紹介しています。

町田市ホームページ内
検索フォームで



ホームページ掲載イメージ

お問い合わせ 環境資源部 環境・自然共生課 Tel. 042-724-4391

こんなこともやってみよう

環境について知りたいときは

- 「まちだ市民大学H A T S」の環境講座などに参加し、環境について学びましょう。
- 図書館で、環境に関する本や雑誌を利用しましょう。町田市の図書館では環境に関する出版物を充実させて提供しています。また環境をテーマにした特集コーナーも随時設置しています。

小野路宿里山交流館へ行こう

多摩丘陵の原風景を残す市北部の小野路地域には、江戸時代に宿場としてにぎわった小野路宿があります。そこにあった一軒の旅籠、旧「角屋」を改修し、観光交流の拠点として再整備した施設が「小野路宿里山交流館（小野路町888-1）」です。



小野路宿里山交流館の外観

小野路宿里山交流館では、小野路の歴史・自然・文化にふれられる楽しいイベントを毎月開催しています。



うどん作り教室



小野路ガイドウォーク

市の広報やホームページでイベント情報を確認して、参加してみましょう。

お問い合わせ 小野路宿里山交流館 Tel. 042-860-4835
経済観光部 産業観光課 Tel. 042-724-2128

こんなこともやってみよう

町田市内の環境保全活動を知りたい、参加したいと思ったときは

- 町田市内の環境保全活動・活動団体等の環境に関する情報を収集したホームページ（作成予定）等を利用して、環境保全活動の情報を調べ、参加してみましょう。
- 関連情報で紹介している町田市のNPO法人等の環境保全活動に参加してみましょう。
- 友人や自治会等でグループを作り、環境保全活動を実践してみましょう。

学校等の環境教育に協力するには

- 農地、事業所や工場などを学校の環境教育の場として活用することを検討してみましょう。
- 学校等の要請を受けたら、専門的知識を持った人や環境活動に参加している人を、環境教育の場に派遣しましょう。



CSR(企業の社会的責任)活動の実施を検討するときは

- 東京グリーンシップ・アクション等の、環境保全活動の実施を検討しましょう。

お役立ち 情報

◎東京グリーンシップ・アクション

東京に残された貴重な自然環境である、森林や里山等を保全していくために、東京都が指定した保全地域内において、企業・NPO法人等と連携した自然環境保全活動が実施されています。

2015年度は、町田市の図師小野路歴史環境保全地域、七国山緑地保全地域で環境保全農業体験や下草刈等の活動が実施されました。毎年、東京都環境局ホームページで参加企業を募集しています。

市の取り組み紹介

町田市環境副読本

「めざせ！エコマスター -町田市環境副読本-」は子どもたちに、身近な話題から環境について興味を持ち、考えてもらうことを目的に、作成され、2016年度から市立小学校で配布を行っています。

この副読本では、市内の自然を紹介し、様々な環境問題を町田市特有の事例を交えて解説しています。

小学校の授業だけでなく、自宅学習や中学生になり更に環境への理解・関心を深めてもらう際に読み返すことができる内容になっています。

副読本や副読本に組み込まれているワークシートは市のホームページからダウンロードもできます。環境に関するイベントや活動を実施する際に、是非ご活用ください。



お問い合わせ 環境資源部 環境政策課 Tel. 042-724-4386

環境を守る 暮らしの手帳 2017-2021
後期アクションプラン概要版

編集・発行 町田市 環境資源部 環境政策課
所在地 〒194-8520 町田市森野 2 丁目 2 番 22 号
電 話 042-724-4386
発行年月 2017 年 6 月
印 刷 コムネッツ株式会社
刊行物番号 17-20

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

この冊子は 1,000 部作成し、1 部あたりの単価は 334 円です（職員の人件費を含みます）。



町田市エコキャラクター

ハスのん

町 田 市